

週間漁海況情報 2024年第39号

令和6年9月24日発行

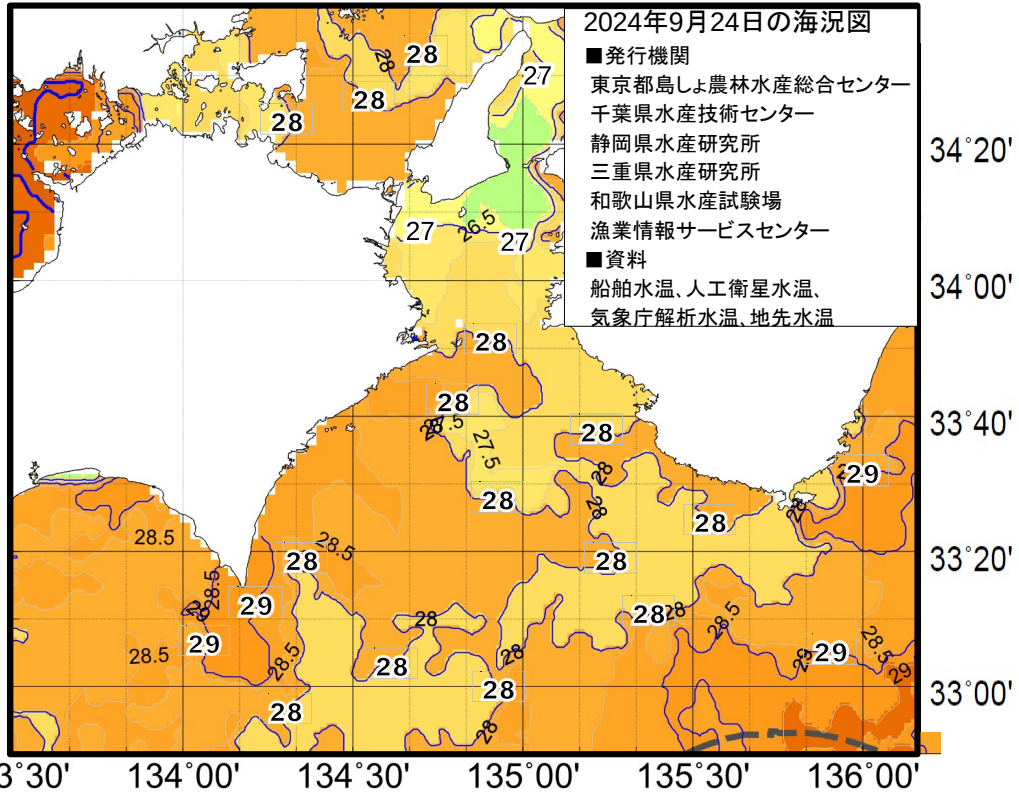
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも45マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「やや離岸」している。先週と比べて、潮岬沖では約35マイル接岸した。

黒潮の表面水温は28～30℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で27～28、紀伊水道で26～28、海部沿岸で27～28℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～

潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

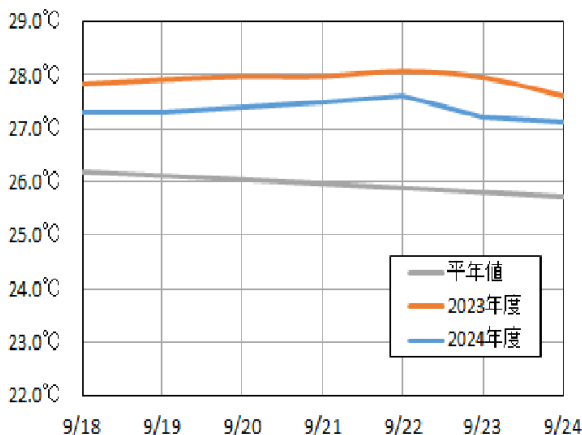
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

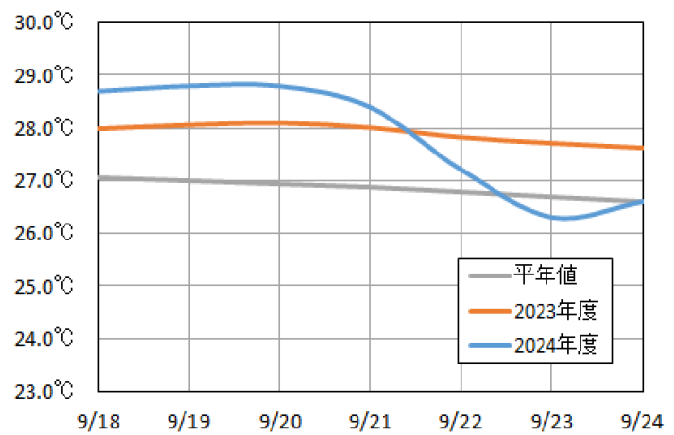
2. 地先水温(9月18日～9月24日)

鳴門地区の水温は、27.1～27.6℃で「やや高め」から「高め」、浅川地区は、26.3～28.8℃で「平年並み」から「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は-0.9～1.5℃で、先週と比べて広がった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(9月25日～10月1日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「やや離岸」して推移する見込み。
 地先水温は、鳴門地区、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (9月16日～9月22日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが43.3ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って中主体に2.5ト、あまだい類が0.4ト、

サワラが大きく減って0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが中主体に5.7ト、えそ類が大きく減って0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが1ト、マダイが増えて小小主体に0.8ト、ヘダイが大きく増えて0.8ト、

イサキが増えて大主体に0.5ト、カンパチが減って0.5ト、マルアジが小主体に0.4ト、

ふえふきだいたい類が大きく増えて大主体に0.4ト、アイゴが大きく増えて0.3ト、

ブリが大きく減ってつばす級主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが大きく増えて特大主体に10.7ト、キハダが減って0.4ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が減って0.3ト、キダイが大きく減って大主体に0.2ト、

アカムツが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が大きく減って0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.15トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	74	シラス	43,335	586		→
	延縄	26	ハモ	2,504	96	中主体	↘
		34	あまだい類	416	12		→
		16	サワラ	221	14		↘↘
	底びき網	18	ハモ	5,708	317	中主体	→
		18	えそ類	282	16		↘↘
	小型定置網	22	マアジ	1,036	47		→
		20	マダイ	771	39	小小主体	↗
		22	ヘダイ	755	34		↗↗
		17	イサキ	542	32	大主体	↗
		22	カンパチ	519	24		↘
		18	マルアジ	404	22	小主体	→
		15	ふえふきだいたい類	352	23	大主体	↗↗
	海部沿岸	釣り	6	カツオ	10,748	1,791	特大主体
6			キハダ	388	65		↘
延縄		12	あまだい類	340	28		↘
		5	キダイ	163	33	大主体	↘↘
		12	アカムツ	157	13		→
小型定置網		6	かます類	178	30		↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘